

## 令和3年度第2回四街道市子ども・子育て会議（書面開催）会議録

### 1 開催方法

委員へ会議資料を送付し、書面により意見等を聴取した。

- (1) 資料送付日 令和4年1月20日（木）
- (2) 意見提出期間 令和4年1月20日（木）～令和4年1月27日（木）

### 2 出席委員14人（意見提出があった委員）

伊藤会長、千脇副会長、安川委員、青柳委員、有川委員、村井委員、利光委員、小池委員、梶原委員、白石委員、黄野委員、湯淺委員、蜂谷委員、笹原委員

### 3 会議成立要件

委員15人のうち14人が出席のため、四街道市子ども・子育て会議条例第7条の規定に基づく会議開催の成立要件（委員の過半数）を満たし、会議は成立した。

### 4 会議内容

- ・議題①四街道市こどもプラン～第2期子ども・子育て支援事業計画～の一部変更について  
表決事項：事務局案の承認について  
表決結果：出席委員の過半数が「承認」（承認する14票、承認しない0票）
- ・議題②令和4年4月開設予定家庭的保育事業等の認可に係る意見聴取について
- ・議題③令和4年4月開設予定保育所等の利用定員の設定に係る意見聴取について

### 5 提出された意見等と事務局の回答

別紙のとおり

## 提出された意見等と事務局の回答

## ○議題① 四街道市こどもプラン～第2期子ども・子育て支援事業計画～の一部変更について

委員意見等	事務局回答
<p>よつかいどう野外保育さとのたねの事業が給付事業の対象になったことは嬉しく思います。認可についてはどのようになっていますか。認可されたわけではないのでしょうか。前回会議でもお話ししましたが、子育て情報ブック「すくすく」にさとのたねの記載がありません。P. 28、P. 29 に掲載されることは無いですか。(千脇副会長)</p>	<p>本件補助事業は、対象施設等を認可するものではありません。しかし、よつかいどう野外保育さとのたねも市内保育資源の1つであることから、次回改訂に合わせ、子育て情報ブック「すくすく」にさとのたねの情報を掲載することについては、検討させていただきます。</p>
<p>地域子ども・子育て支援事業の充実は今後も高いニーズが考えられます。必要な対応について、積極的かつ戦略的な取組を期待いたします。(安川委員)</p>	<p>今後も、地域のニーズを踏まえつつ、子育て支援事業の拡充に努めます。</p>
<p>国の基準では換気などの感染対策については具体的に触れていませんが、「幼児の健康管理・安全管理」に含まれると考えていいでしょうか。(青柳委員)</p>	<p>お見込みのとおりです。感染症対策について、具体的な審査基準を設ける予定はありませんが、幼児の健康管理のため、感染症対策は当然実施すべきものと考えます。</p>
<p>「さとのたね」は時々見かけたことがあります。すごい信念を持っていると思っていました。野外だけでなく屋内も使用してほしいと思いました。これからの運営が安定して、子どもたちも安心して活動できる様に頑張ってくださいと思います。(有川委員)</p>	<p>荒天時の安全確保のため等、屋内活動が必要な場合もあるかと思しますので、野外保育事業者の審査にあたっては、屋内活動についても考慮させていただきます。</p>
<p>資料1の3ページ、3.の(4)の②設備に「調理場」とありますが、弁当持参施設等では設置されていない保育施設もあると思います。さとのたねの活動を応援します。(梶原委員)</p>	<p>給食の提供がない施設等については、調理場の設置を不要とする予定です。</p>
<p>特に幼少期の子どもたちにとっては、様々な人々との交流や活動を通して人間性や社会性を身につけていきます。その点では賛成ですが、団体によっては利用料の高額な人気のある団体から、子ども向きでない出し物等も考えられます。そこで、①利用料の補助については、各園同士で補助金額に偏りがないように「1回につき〇〇円を限度として」などを付け加えてはどうでしょうか。②団体の選定にあたっては、地域の高齢者との交流を考慮してほしいと思いま</p>	<p>①利用料の補助については、利用幼児一人当たり月額 20,000 円を上限として給付する予定です。 ②審査基準として明文化する予定はありませんが、対象施設等の審査にあたっては、地域住民との交流状況についても考慮させていただきます。</p>

す。(笹原委員)	
時代の流れと共に変わっていく社会の中での子育てをしやすくする為に変更は必要だと思いません。(黄野委員)	今後も、社会情勢、地域特性等の状況を踏まえつつ、適宜計画の見直しを行います。
変更内容について確認いたしました。異議ありません。(小池委員)	

## 議題② 令和4年4月開設予定家庭的保育事業等の認可に係る意見聴取について

委員意見等	事務局回答
近所にも小規模保育園が目につく様になりました。家庭的な中で保育して下さるのは預けやすいのかなと思います。3ヶ所とも連携施設があるのはいいと思います。時々行事など交流できたら喜ぶと思います。(有川委員)	今後も保育需要の状況に的確に対応した形態での保育定員の確保に努めます。また、新規整備の小規模保育事業については、卒園後の保育形態を見据えながら、施設運営者に連携施設の確保・充実を働きかけます。
連携施設とは記載されている保育施設が関わっているのでしょうか。どのように連携していくのでしょうか。(村井委員)	連携施設については、国及び市の運営基準に基づき、教育・保育が継続的に提供されるよう確保するものとされているものです。連携については①相談助言支援、②代替保育提供、③卒園後の児童の受入れなどがありますが、具体的な内容は施設間での協定によるものとなります。市では教育・保育の継続的な提供が確保されるよう、施設運営者に連携施設の確保・充実を働きかけます。
今回の対象施設である3施設において、保育士の予定数が満たされた場合でも、現在のコロナ禍の場合、保育士自身が自分の子どもの預け先施設が休園になった場合など不安を感じます。保育士20人規模の施設で数人がお休みするのと、6人規模の施設で数人がお休みするのでは、不安を感じます。(梶原委員)	保育士の数については、歳児別の保育定員をもとに定められた人員を満たす形で運営されています。現在、コロナ禍という状況ではありますが、各施設とも継続運営の維持に向け、可能な限りの対応を図っているところです。
四街道市の保育施設は毎年数が増え、整備されていますが、やはり0～2歳児の低年齢児で入所待機となってしまう話を聞くことが多いです。市の現状や保護者のニーズに合わせていくために小規模保育事業の認可は必要なものだと思います。(湯浅委員)	近年の低年齢児の保育需要の高まりの中、小規模保育事業も含め、的確に対応した形態での保育定員の確保に努めます。
決して同じ家庭はない。急用や葬祭等で誰にも見てもらえなかった時は、私自身非常に困った経験がある。隣近所との交流が薄くなっている現在ではなおさらのことである。そんな時、保	家庭的保育事業につきましては、ご意見にありますように四街道市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例第24条第3項におきまして「家庭的保育者1人が保育する

<p>育ママの存在はとてもありがたいことだと考える。それでも小さい子を預かるのは大変なこと。保育の経験が十分にあり、慣れた方で3人まで可能となっているが、2名くらいまでが妥当だと考える。(笹原委員)</p>	<p>ことができる乳幼児の数は、3人以下とする。」と定められております。</p> <p>当該規定につきましては、厚生労働省令の「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」で定められた内容であり、児童福祉法第34条の16により、この厚生労働省令で定める基準に従い定めるものとされているところです。</p> <p>今回ご意見をいただきます小規模保育事業A型につきましても家庭的保育事業等（家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業及び事業所内保育事業）として同様に定めるものとされております。</p>
<p>より一層、子育てに満足度の高い四街道市となっていくために、保育の現状を踏まえた小規模保育事業の展開は妥当と思います。(安川委員)</p> <p>基準を満たしており、認可妥当と思われまます。(青柳委員)</p>	<p>今後も保育需要の状況に的確に対応した形態での保育定員の確保を図りながら、適正な認可に努めます。</p>
<p>小規模保育事業の認可について確認いたしました。特に問題に感じるところはありませんでした。(小池委員)</p>	

### 議題③ 令和4年4月開設予定保育所等の利用定員の設定に係る意見聴取について

委員意見等	事務局回答
<p>市に2つ目の認定こども園ができるのは良かったと思います。子どもも保護者も安心して長くお世話になる事ができるのは大変良いことだと思います。(有川委員)</p>	<p>各施設・事業者の意向も踏まえながら、今後も保育需要の状況に的確に対応した形態での利用定員の確保に努めます。</p>
<p>保育施設が毎年増えていますが、まだまだ待機児童は多いのでしょうか。(村井委員)</p>	<p>令和3年4月1日時点での待機児童数は0人ですが、保育需要は年々高まっている状況です。今後も保育需要の推移を注視しながら、施設整備の促進など適切な対応を図ります。</p>
<p>保育士の人数は募集をすると集まっていますか。また、資格はない子育て経験者に手伝ってもらおう考えはないのでしょうか。(村井委員)</p>	<p>市内の保育所等におきましては、必要数は充足しているものと考えています。保育士資格を有さない者におきましては、みなし保育士の要件を満たす者であれば、資格を要することなく保育業務に従事することも可能です。</p>
<p>保育需要が増加している昨今、新施設の開所ありがとうございます。可能ならば、0歳児受け入れ施設がもっと増えると、保護者は嬉しいと思います。(梶原委員)</p>	<p>各施設・事業者の意向も踏まえながら、今後も保育需要の状況に的確に対応した形態での利用定員の確保に努めます</p> <p>0歳児については、現時点では充足した定員数</p>

	<p>となっておりますが、今後も保護者の皆様の意向・要望を注視しながら、適切な対応を図ります。</p>
<p>コロナのオミクロン株による幼児から 30 歳代までの感染状況を考えるとスタッフを集めるだけでも大変なことだと思う。無理せず、全体で 40 人前後からスタートし、人的・物的環境を整えていってもいいのではなかろうか。(笹原委員)</p>	<p>本市における保育需要は年々高まっているところであり、令和 2 年 4 月 1 日時点では待機児童が生じたところです。令和 3 年同時期におきましては、令和 2 年度中に 60 人定員の保育所 3 園、19 人定員の小規模保育事業所 2 園が開園し、待機児童は生じませんでした。今後数年は保育需要が増加するものと見込んでおります。令和 4 年 4 月におきましても現状の定員では待機児童の発生が懸念されますことから、保育需要や年齢構成を踏まえ、今回ご意見をお伺いしております利用定員を設定しているところです。</p>
<p>保育需要を見越した適切な設定と思います。(安川委員)</p>	<p>各施設・事業者の意向も踏まえながら、今後も保育需要の状況に的確に対応した形態での利用定員の確保に努めます。</p>
<p>基準を満たしており、認可妥当と思われます。(青柳委員)</p>	

その他、全般に関する委員意見・質問等の概要と事務局の回答

委員意見等	事務局回答
<p>前期から合わせて 4 年間お世話になりました。勉強になることもたくさんありました。ありがとうございました。この会議で話し合われることは就学前の子どもたちについての内容が多いですが、「子どもは 18 歳まで」を念頭に忘れず、中高生への支援体制がもっとあるといいと思います。近年は貧困に関する事案も多くなっていますが、子どもにはどうすることもできない範疇です。親への支援が子どもの支援につながると思います。例えば、これは親支援ですが、市立である中学校の制服着用は義務です。成長期にある子どもたちは入学時に購入した制服で卒業までというのは難しい子どもも多く、高い学生服の再購入は家計の負担です。そんなところを補える体制づくりも必要ではないでしょうか。これからも子どもたちのためにどうぞよろしくお願いいたします。(千脇副会長)</p>	<p>子どもの貧困対策については、重要な課題として、支援体制の構築に向けて検討を行っているところです。</p> <p>中高生の子ども支援及び親支援については、いただいたご意見も参考に、効果的な支援ができるよう施策を展開してまいります。</p>

<p>委員を2期務めました。あまりお役に立っていないように思います。医師会の常会でご意見をお聞きしましたが、医師会からの委員の選出はなくてもいいのではないかという意見もありました。ご検討宜しく申し上げます。(青柳委員)</p>	<p>いつもお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。子ども・子育て支援施策には小児保健医療なども含まれることから、専門的立場からのご意見は大変重要なものと捉えており、今後ともご選出をお願いしたいと考えております。</p>
<p>新設園が毎年開園されていますが、園庭がない保育園が殆どです。公園まで歩いていくなどしています。子どもたちや働く職員が安心して過ごせるように。また、子どもたちの育ちを考えた環境の保育園を作ってほしいです。(利光委員)</p>	<p>地域的には、その周辺環境から園庭の設置が困難な施設もありますが、そのような要件も含め、市では保育所等の設置・運営事業者募集に応募された提案の中から利用者の皆様の様々な利用形態や保育需要、保育方針、保育環境などを総合的に勘案して事業予定者を選定し、保育定員の確保を図っているところです。</p>
<p>認可された事業者の連携施設との具体的な連携内容について、専門家による実態把握が大事かと思えます。連携施設の意義の実践。(蜂谷委員)</p>	<p>小規模保育事業の連携施設につきましては、市条例において、連携協力の内容について連携施設の設置者と書面により契約等を締結するものとしており、市の認可に当たり、協定書等を提出するものとしております。また、連携内容につきましては定期的に実施する市の指導監査の際に確認します。</p>
<p>私の知人にコロナ禍でリストラにあい、パートを2つも掛け持ちして頑張っている母親がいる。2か所で働いても1か月当たり大した金額にはならないらしい。子育ても、子どもの話をじっくり聞いてあげたいが、忙しさと疲れで子育て自体にストレスを感じているとのこと。これは一事例でないことを肝に銘じておきたい。(笹原委員)</p>	<p>児童扶養手当や社会福祉協議会の貸付制度、ファミリー・サポート・センター事業など、困難の改善につながる支援制度をご案内できる場合があります。困難を抱えているご家庭に関しては、健診や各種手続き、教育・保育現場など様々な機会を通してその把握に努めているところですが、もし、お近くでお困りのご家庭がありましたら、市役所につなげていただければ、お願いいたします。</p>
<p>コロナ禍が続いておりなかなか計画通りに進みづらいこともあるかと思いますが、今後も四街道市の子どもたちの教育・保育の場の整備や子育てへの支援が進んでいくことを期待しております。場所の確保だけでなくその後の保育の質も定期的に見ていただけるよう宜しくお願い致します。ありがとうございました。(湯浅委員)</p>	<p>今後も計画に基づき、子育て環境の向上に取り組んでまいります。 また、保育施設等につきましては、施設の運営状況や保育環境、入所児への対応等について、定期的に実施する市の指導監査の際に確認します。</p>

## 感想等

コロナ禍の中で多くの支障がある中での会議を行うことは大変であったと思います。この会議の一員として、また会長として携わることができ、皆様の貴重なご意見や考えを伺うことができま

<p>したことに感謝いたします。今後も四街道市での子育てがより発展できますことを祈念いたします。ありがとうございました。(伊藤会長)</p>
<p>コロナ禍の会議運営、大変なご苦勞があったかと拝察いたします。それぞれの立場から各委員の方の意見を聴取され、市政運営との関わりから調整等を図ってくださり、ありがとうございました。とても有意義な会議であると思います。会議で情報交換されたことが保育や教育、地域等で望ましい手立てとして形になっていくことも期待できるように感じました。(安川委員)</p>
<p>今期初めての参加によって、知らない事を知る事ができた事は勉強になりました。子どもたちにとって安心安全で明るい未来が過ごせるよう、微力ながら今後もお力添えさせていただけたらと思っております。どうもありがとうございました。(村井委員)</p>
<p>コロナ禍の中で未来を担う子どもたちの教育関係への対応や保護者の皆様への子育て支援への役割はとても重要で多岐にわたり、決定する事項も複雑で大変であると思います。2年間、四街道市子ども・子育て会議委員として携わらせていただき貴重な経験をすることができました。委員の任期は終わりますが、今後も四街道市が子育て日本一のまちへと益々発展していけるよう微力ながらお役に立てればと思います。ありがとうございました。(小池委員)</p>
<p>令和3年度は待機児童もなく、保護者の方が安心してお子さんを預けられる環境が整ってきているようで嬉しいです。これからも子育て世代に寄り添える施設が更に整うことを願います。子どもの活動に関わっている者として、今までの資料もとても参考になりました。ありがとうございました。(梶原委員)</p>
<p>第1回より、4年にわたり委員を務めさせて頂きましてありがとうございました。大変貴重な経験となりました。今後も四街道市が、子育て日本一のまちとして、ソフト、ハード共に発展していくことをお祈りしております。最後に、日々、子育て世帯をサポートして頂いている事務局及び関係職員の方々に感謝の気持ちをお伝えしたいのと益々のご活躍を期待しております。(白石委員)</p>
<p>今回、このような会議に参加したことで、子育てしている中でも知りえなかったことを知り、たくさんの方々がより良い社会を作る為に動いて下さっていることに頭が下がります。ありがとうございました。(黄野委員)</p>